

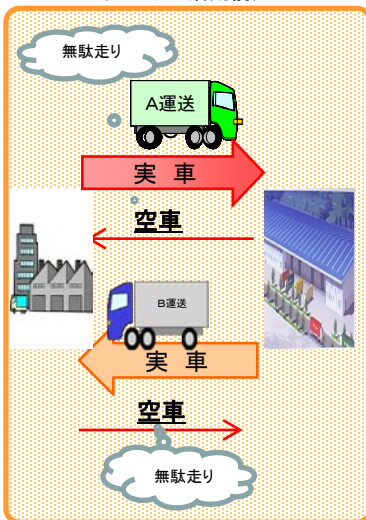
# 1. 貨物自動車運送効率化実証事業

貨物自動車運送事業の輸送効率化に資する総合的な取組みを実証し、その結果を広く普及・啓発することにより、更なる自営転換の促進等を通じた物流分野の省エネ化を図る。

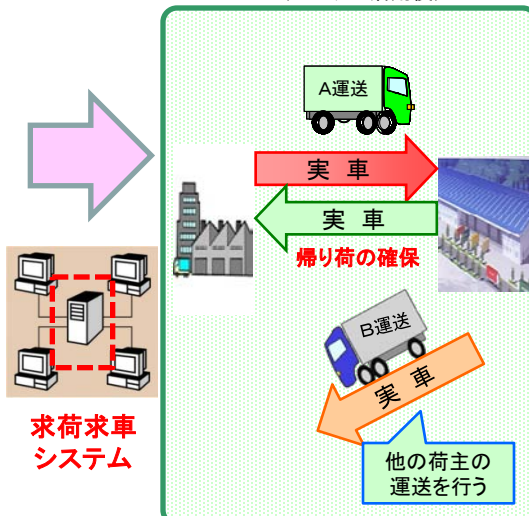
■ 一又は複数のトラック事業者等が輸送の効率化等に資するシステムや取組みを複数活用し、総合的な輸送効率化計画を企画・提案。

## 支援例A：求荷求車システムの導入・活用セミナー

(システム活用前)



(システム活用後)

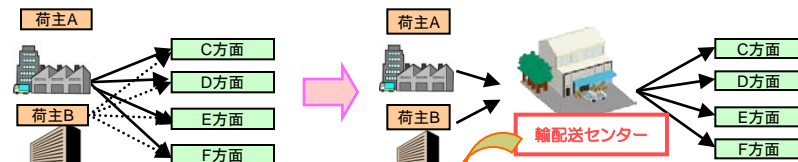


### 【セミナーの開催】

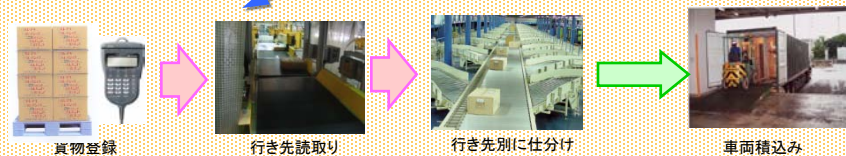
求荷求車システムの効果、利用方法等に関するセミナーの開催により、普及啓発を行い利用者の拡大、ニーズの掘り起こしを図る。

・複数の会員が加入する求荷求車システムの導入により、帰り荷の確保や積み合わせ運送による効率的な運送が可能

## 支援例B：マテリアルハンドリングを活用した効率化



制御・管理端末



・複数の集荷先から個別に配送するのではなく、一旦自社仕分場で行き先別に仕分けし、方面別に積み合わせて配送することにより、運行の効率化を図る。

## 支援例C：GPSを活用した車両トレーサビリティシステム

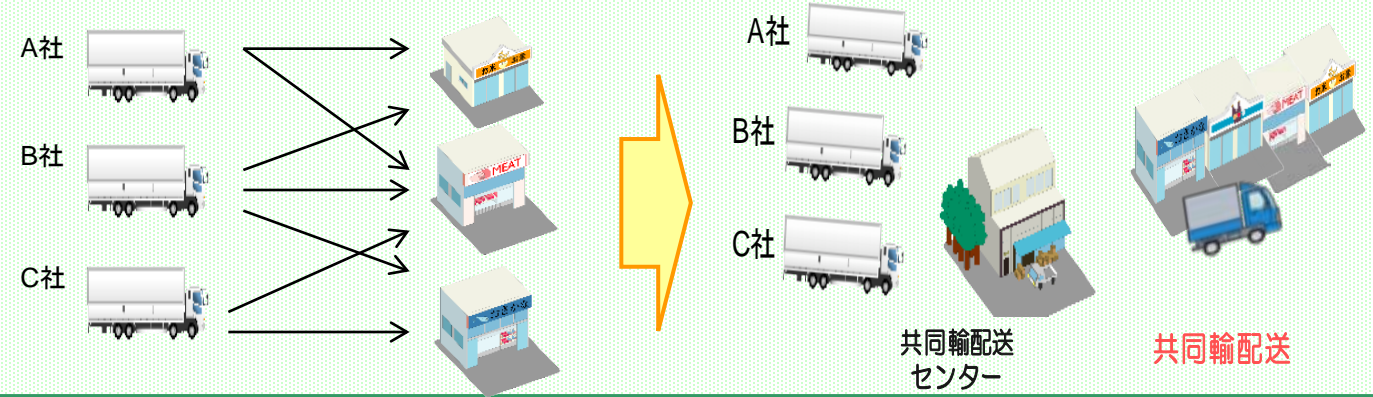


・GPS装置等によって把握される個々の車両の位置情報・積載率情報と、荷主からの輸送依頼情報を一元管理し、最適な運行ルート等の配車指示を行い、輸送効率の向上を図る。

# <参考> 輸送の効率化に資する取組み(例)

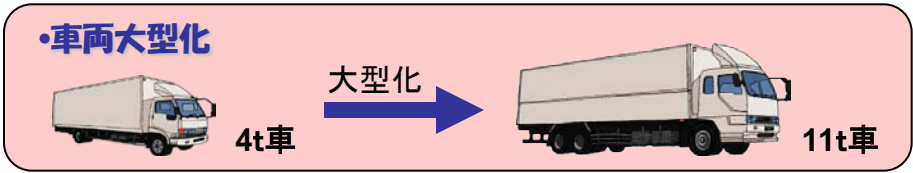
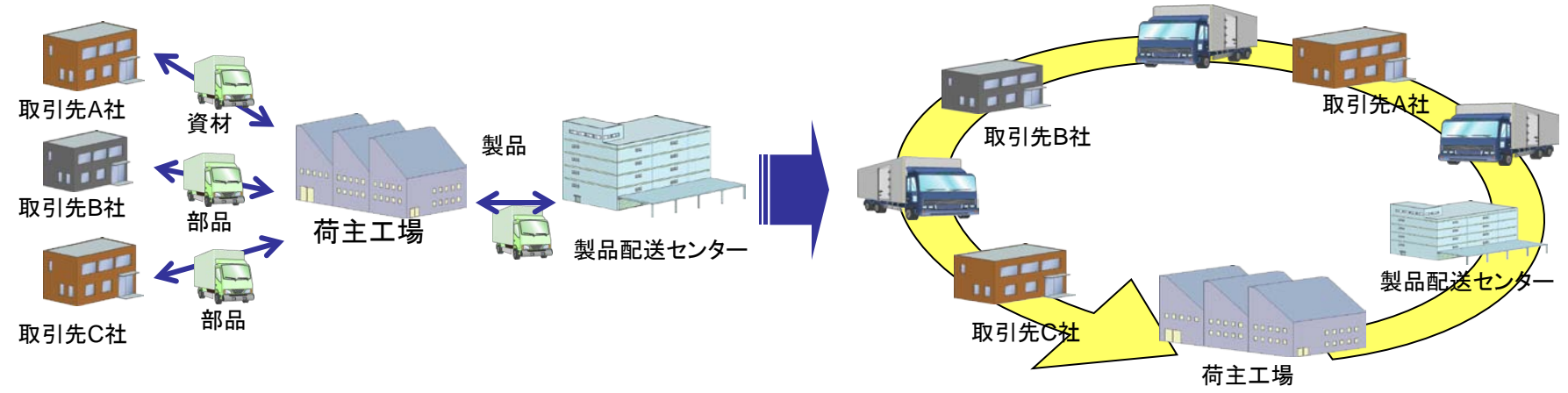
## ○共同輸配送

トラック事業協同組合等傘下事業者による共同輸配送により、地域内における輸送の効率化を図る。



## ○大型車両化によるミルクラン方式の導入

複数の取引先を大型車両で巡回しながら部品を集荷、搬入する「ミルクラン」(巡回集荷)の導入により、積載効率を高め、車両数及び輸送距離の削減を図る。



•大ロット化  
•積載量の向上  
•輸送距離削減